

ケース学習（喘息の少年）／前分析・分析・統合

<前分析>

- ① 印象＝元気・痩せすぎ・真面目過ぎ・ベシ／ベからずの道德老人みたいな少年
 - ② 健康度（0～10）＝7
 - ③ 予後（良いレメディがある時／レメディがない時）は、どうなるか？
■ 良いレメディがあれば＝ベシ／ベからず的思考（老成した大人のような強い分別＝理想主義・正義感・平等観・義務感・道德観）に囚われ過ぎて、何もかもすべて完璧にしないと気がすまないという檻から自由になり、もっと子供らしい柔軟な生き方が出来るようになる。それと同時に喘息・百日咳は良くなってゆく。
■ 良いレメディがない時＝ベシ／ベからず的思考に更に固執することで、自分を縛り続けてゆき、心身ともに疲弊して行く。喘息・百日咳等の身体症状は益々悪化し、慢性化してゆく。
 - ④ 救急性（急性か慢性か～救急性があれば、そこから始める）＝慢性
 - ⑤ 治癒を妨げているものは？＝ない。
 - ⑥ 親和性（部位）＝喉・気管支・皮膚（イボ）・膀胱・精神
 - ⑦ マヤズム傾向（Psora Syphilis Cancer TB）＝Syphilis（イボ）
 - ⑧ 全体性（レメディはいくつ必要になるか？）＝一つ。
 - ⑨ バイタリティー＝7
-

<本分析>

この少年の特徴的症狀をまとめると・・・

<身体面>

1. 主訴＝喘息と百日咳

咳：毎回、深夜3時に発作。咳のために眠れず、かなりやつれている。

喘息：運動で悪化。

2. イボ。足の爪周りに30個。焼いてきれいにした。焼いてから咳・喘息発症・悪化。SRP
3. おねしょ。
4. 薬を飲めこめない。SRP
5. 体質は、冷たい。

<精神面>

1. 合奏が好き。サッカーもアシストが好き。自分のためではなく、皆のためにしたい。
2. 真面目で、きっちり。道德好き。まるで（老成した）大人のような道德観。SRP（マザー・テレサを尊敬している）
3. 自分が良いと思う道德観や義務感（～すべき）が強すぎて、子供らしい柔軟さに欠ける。決めたら曲げない頑固さ。SRP
4. 完璧主義

5. 将来を心配して、お金を貯めている。
6. 理屈っぽい。理性的・知性的。
7. すぐに泣く。感動しやすい。(亡祖父も心配しているくらい強い症状！) SRP
8. きままに優先順位が付けられない。みんな平等・みんな同じ・・・であるべき。
正義感・道徳観も絡んでいて固定的。SRP
9. したいことも全部しないと気がすまない。できない自分を許せない。
10. 不思議な声が聞こえる。おじいさんの声、「泣くな！」＝すぐに泣いてしまう。
11. 暴れる子が苦手。

.....

統合＝

<精神面>

- ・子供らしさがなさすぎる。

理想主義的で正義感が強い良い子だが、大人のような分別臭が強すぎる。その強すぎる分別で、自分を縛りつけて、無理を重ねて病気になっている。

分別しすぎることで、子供らしい自由を失っている。

<身体面>

- ・皮膚症状の抑圧から病状が悪化（イボを焼いて以来、咳・喘息が悪化）
- ・おねしょ・泣き虫・薬を飲み込めないなど、麻痺的（思うように動けない）症状が特徴。

「過剰な分別（べしべからず的思考）で、自分自身の自由を奪っている少年」

- ・・・こういう全体像を持ったレメディを探す。

以上